

ポパイズクラブ

～始めれば夢広がる、定年組の挑戦！～



平均年齢70歳を超えるメンバー



人気の自家製オリーブオイルと塩漬け

経緯

○定年退職を迎えて地元大島に帰ると、過疎化による空き家や空き地の広がりを憂いて、寂しさを感じていた。地域のためになる何かをしたいとの思いで「地域を元気にするには産業を興すべき」と一念発起し、同じ志を持つ10人で「愛媛県初のオリーブ産地づくり」に取り組むことになった。

取組内容

○現在10人で活動し、作業スケジュールの管理や経理、営業等は共同代表の2人が担当するが、病虫害防除や施肥、収穫、搾油、瓶詰め作業等は全員で行う。
○地域の遊休農地を借り受け、1.6haの園地を整備し、600本のオリーブを育てている。
○地域の若者を招いた収穫体験会等を毎年開催するなど、幅広い世代、分野との交流によるオリーブ栽培の魅力発信を行っている。

活動の効果

○令和4年3月に栽培マニュアルを作成し配布したことで、生産者数や栽培面積が着実に増加し、現在は今治市の陸地部まで面積が拡大した。
○商品化したオリーブオイルと塩漬けは有名になり、市内各所の産直施設や量販店でお土産の定番として販売されている。
○グループ「しまなみみんなのディッシュ」を結成し、地元マルシェでの共同ブースや観光施設で連携販売に取り組んでいる。

応募団体からのアピール・メッセージ

開始4～5年は収穫量がほぼ皆無で苦しかったが、現在ではオリーブでイベントを行うと大島に人が集まるようになり、県内外からの観光客や地元の子ども達を寄せる観光スポットにもなった。地域を思う気持ちがあれば、挑戦するのに遅すぎるなんてない。

住所・電話番号・SNS等

今治市吉海町本庄1007 Tel:090-8977-2667

奨励賞

 えひめけんりつきたうわこうとうがっこうみまぶんこうちいきじょうほう
愛媛県立北宇和高等学校三間分校地域情報ビジネス部

 ×
 みまプロジェクト「みまブンブン室プロジェクト」

～みまブンブン室から農山村を元気に！～



ライスバーガーを商品開発、マルシェで販売



古民家の利活用を地域、大学生と協議

経緯

- 令和3年度より「北宇和高校三間分校」に再編され、現在生徒数は53名の小規模校になっている。そのような中、三間町を盛り上げるために構成されたのが「三間分校地域情報ビジネス部」の高校生(12名)と、三間町の活性化を行う民間グループ「みまプロジェクト(農家・酒屋・団体職員等5名)」の、2チームのコラボにより設立。

取組内容

- 地元特産の三間米や味噌・宇和島市日振島で採取した塩・地元名産タケノコ・校内栽培の大葉等、原材料の地元産・自家製ソースの「ライスバーガー」を開発。
- 生産者や商店の要望を聞き、農山村ビジネスインターンシップとして高校生を派遣、仕事内容や地域課題の実情を体験。
- 農家古民家を「三間分校」の「みま分」と「ブンブン室(分室)」を掛け合わせた拠点として構築し、農山村を盛り上げる場を目指す。

活動の効果

- 販売イベントへの参加により新聞、テレビ、ラジオ等のメディアにも多数取り上げられ、地域PRが進み、市民等からの問い合わせも増加するなど地域の活性化に貢献。
- 農山村ビジネスインターンシップを実施し、若者等が農山村を知り、人材育成に繋げることで地域社会に還元。
- 古民家の利活用を考え、現在、名城大学で建築を目指す学生や三間分校・近隣の高校、地域住民等が体制構築を目指して活動中。

応募団体からのアピール・メッセージ

ライスバーガー販売により、地域PRが進み、活性化に貢献できている。古民家活用では、地域の方と協議をし、地域と共に活動できる場づくりを目指し、高齢化、人材不足が進む地域の課題解決に向けて、地域社会に還元できるシステム整備をしていく。

住所・電話番号・SNS等

宇和島市三間町戸雁764-3 Tel:0895-58-2031 <https://www.instagram.com/mimabunkou>


 きぎょうくみあい つしま こうぼう
 企業組合 津島あぐり工房「あすも」

～日々笑顔で暮らすお手伝い「あすも」～



人と食、人と地域、食と地域をつなぐ活動一覧



廃校教室を活用した農家レストラン部門「あすも」

経緯

- 愛媛県宇和島市津島町内の農家女性たちで、次世代に地域の伝統的な食文化や伝統の味を伝え、“農家・漁家女性の経済的自立”を目標として活動を開始。
- 「家庭の味」「ふるさとの味」を残し、「地域食文化」を守り育てることが私たちの使命であるとの思いから、農林水産業の副業として地産地消の活動をスタートさせた。

取組内容

- 地域の豊かな農水産物を活用した加工品・惣菜などの製造販売。
- 農家レストラン部門「あすも」をオープン。地元の消費者と交流を深め、地元食材の消費拡大につなげる取組とともに、地域の活性化に貢献し地域の問題を解決しながら、地域に愛され、親しまれる店づくりを目指す。
- 「ふれあいモーニング(毎月1回開催)」を地域のコミュニティの場所として提供。

活動の効果

- 加工品の開発や販売促進を進めることで、地域農産物の需要拡大に貢献。
- 「あすも」が地域のコミュニティの場所として確立され、1日100人以上の地域の人たちが来店。地域の人たちの問題解決の場所として、また、居場所にもなっている。
- 行政や社会福祉協議会等とも連携を強化しながら、関係人口の増大を図ることにもつながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

鯛の中骨残さを活用したエシカルフーズ「鯛さつま」を地元の企業組合と共同開発し、食品ロス削減に取り組み、限りある地域の海洋資源のSDGsへの取組などの支援も行っている。

住所・電話番号・SNS等

宇和島市津島町浦知380 Tel:0895-49-1317

みずの ひろゆき
水野 裕之

～誰もが無理だと言われた島の資源を使って～



店で撮った夫婦写真



島ウェディング事業

経緯

○前職の星野リゾートに勤めていた時、全国転勤を経て、改めて日本の魅力を体感した。日本には四季・景色・食材それぞれに魅力がある。それらを人を介して体験することで、そこにはないものになる。そんな場所を自身でも作りたいたいと思い、家族で島へ移住を決断。

取組内容

- 島で唯一の地産地消飲食店を開業。
- 島へ繰り出すピクニックアクティビティ。出発前には、島の軽い歴史、おすすめスポット、過ごし方、等を話すことで、自身で来島しただけではわからない島の魅力を演出。
- 島を旅するウェディング事業。山、海、船、みかん畑、網置き場、密集した家々などお気に入りの場所でウェディングフォト。人の人生に寄り添った事業を展開。

活動の効果

- 島内外の人の交流が生まれるとともに、島民の会合や同窓会などが開かれ喜ばれている。また、島の食材を使用することで経済循環が生まれている。
- 島民の方の養殖魚を使用することで認知度向上。
- 島柑橘の摘果を料理に活用。本来捨ててしまう、摘果みかんを使用することで、新たな価値を創出。

応募団体からのアピール・メッセージ

「古いと新しい」「日常と非日常」が交じり合う体験ができる、唯一無二のこの場所で、より一層この島が好きになってもらえるように取り組みます。

住所・電話番号・SNS等

宇和島市本九島1389 Tel:090-2822-3918

～デザイン思考によるオレンジでアレンジ！～



地元イベントでのジェラート販売活動



開発商品：柑橘香る真鯛の和風パスタソース

経緯

- 平成12年から「バーチャルカンパニーA★KIND(アキンド)」の名称で活動。
- 高校生の視点から地域貢献活動に取り組み、地元特産の鯛や柑橘を使ったパスタソースやジェラートの商品を開発し、全国規模への販路拡大を実現することで多くの人たちに八幡浜の魅力を発信することを目指した。

取組内容

- 八幡浜漁協及び株式会社ミヤモトオレンジガーデンとの間で3者協定を結び、鯛と塩みかんを活用した商品開発に取り組み、和風パスタソースを商品化し販売。
- 株式会社Atriumと、樹齢130年の夏みかんやいちごなど八幡浜産のフルーツを活用した商品開発に取り組み、ジェラートを商品化し販売。
- ワークショップ、ボランティア活動など地域を盛り上げる活動に積極的に参加。

活動の効果

- 地元企業とコラボし商品開発等に取り組んだこと、また、地域活動に積極的に参加したことにより、当活動に興味を持ってもらえる関係機関も増え、イベントへの参加依頼が増加し、取組が広がってきた。
- 和風パスタソースは、クラウドファンディングを実施し、返礼品として使用したため、知名度が上昇した。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は、開発商品のブラッシュアップや新パッケージの作成、商品のシリーズ化を目指し、県内・外での販売活動などを行いながら販路を拡大し、八幡浜の水産業や農業の魅力を発信していき、商品開発の研究を進めていきたい。

住所・電話番号・SNS等

八幡浜市松柏丙654 Tel:0894-22-2570

奨励賞

 せかい
 ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会実行委員会
 にほんたいかいじっこういんかい

～マーマレードの聖地「やわたはま」へ～



第5回大会:最終審査員による審査会



出品されたマーマレード

経緯

- 英国のコンテスト創始者に、近年、日本からの出品数が増え、品質も高いことから、コンテストを日本で開催したいとの意向があることを知り、八幡浜市への誘致活動を実施。
- 令和元年に英国の国際的なマーマレードコンテストを「柑橘王国」愛媛県八幡浜市で日本初開催。

取組内容

- 第5回のマーマレードアワード(審査会)では、プロ、アマ合わせて国内は47都道府県から、海外は台湾から計1,987作品の出品があった。
- フェスティバルでは、表彰式のほか、ステージイベント、農産物加工品販売出展ブース、受賞マーマレード販売ブースなどでマーマレード・農産物をPR。

活動の効果

- 大会期間中のマーマレードの展示やイベント、ブース出店によって来場した多くの人にマーマレード、柑橘の魅力を発信した。
- 同大会で金賞を受賞された柑橘生産者の団体が企業化され、マーマレードを中心に農産物加工品を広く販売するなど、生産者という強みを生かした事業を展開。また、アマチュアの部で受賞された方々が、プロとして店舗販売・ネット販売など、事業化されている。

応募団体からのアピール・メッセージ

マーマレードを通じた日本と海外との交流、日本柑橘産業の活性化をさらに推進し、マーマレードの魅力を国内外に発信するとともに、柑橘王国:愛媛県八幡浜市の柑橘及び柑橘加工品産業の育成、事業の拡大などを支援していきたい。

住所・電話番号・SNS等

八幡浜市北浜1-1-1 Tel:0894-22-3111

えぬぴーおーほうじん

せんじょうたなだ

NPO法人 うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム

～千町棚田から西条市の環境を守ろう～



耕作放棄地解消のためのトラクター路整備



竹灯籠を使った棚田ライトアップ

経緯

- 千町棚田は、約80ha(石組2,300枚)の農地を開拓し、稲・麦作中心の農業を行ったことに始まる。
- 近年、耕作放棄地の増加、獣害被害による石垣の崩壊が進む。
- 歴史遺産である千町棚田を農作物の栽培や石垣保存活動で知名度アップを目指し活動を開始した。

取組内容

- 耕作放棄地の解消を有機農法での稲作を中心に行った。
- 放置竹林解消のため、地元高校生と、竹林整備と伐採した竹の有効利用の研究を行った。
- 棚田オーナーや西条市民、小中学生、企業などと一緒に、農業や石垣の保存を行った。
- 棚田ライトアップや地元小学生を対象に竹灯籠製作体験を年間6回実施し、棚田の多面的機能の紹介や環境啓発活動を行った。

活動の効果

- 活動当初20aから始めた水田面積は、令和4年度には耕作放棄地や放置竹林2haを借入れ稲作、高原野菜、柚、梅の栽培、竹林整備を行い、耕作放棄地の解消に寄与した。
- 今年度は地元高校生と一緒にトラクター路の整備を行うことで、耕作放棄地解消の進捗率を上げることに繋がった。
- 竹をパウダーにし野菜畑に散布し、雑草発生の抑制や肥料としての効果の研究を行った。この活動が、地元地方新聞やメディアで紹介され、棚田の多面的機能の紹介や環境教育が図られた。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後、堂の坂棚田(愛媛県西予市)、長者の棚田(高知県仁淀川町)、貝ノ川棚田(高知県津野町)との棚田サミットを開催し、棚田保存の在り方や後継者養成の在り方について意見交換を行い、持続可能な棚田になることを図る。

住所・電話番号・SNS等

西条市西ひうち3-21 Tel:0897-58-5535

えひめけんりつさいじょうのうぎょうこうとうがっこう

愛媛県立西条農業高等学校

～GGAP取得を当たり前に！ICTで簡略化～



GGAP温室での収穫指導



効率化するために作成したアプリケーション

経緯

- 現代の農業では食品安全だけでなく環境保全、労働安全等の持続可能な農業方法の導入が必要とされており、GGAPの取得を農業高校で実施することが重要な役割を持つと判断した。
- GGAPの文書管理はとても煩雑なため、独自のアプリケーションの開発により作業の簡略化を目指した。

取組内容

- 令和4年度に取得したGGAPに準じた栽培に取り組むとともに、勉強会を実施するなどして普及活動を行った。
- GGAPの文書管理はとても煩雑で、昨年度は非常に苦労したので、今年度は本校独自のアプリケーションをFileMaker PROで作成し、文書管理及び審査準備の簡略化を実施した。

活動の効果

- 生産方法が国際基準に合致しているGGAPを取得したことで、今後もこの基準に準拠した栽培を続けることを強く意識するようになった。
- 青春時代に、農業の魅力や重要性を実感し、それを地域や社会に広める活動は、新しい学びとなっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

GGAPの取得を基盤に、より環境に優しい農業技術の導入や新しい作物の試験栽培を進める。地域との連携も深化させ、共同での勉強会やワークショップを開催し、農業の新たな可能性を探求する。また、高校生の独自の視点を活かして、新しい農業マーケティングやブランド作りにも挑戦する。

住所・電話番号・SNS等

西条市福武甲2093 Tel:0897-56-3611

えひめけんりつさいじょうのうぎょうこうとうがっこう いしづちくろちゃえすいーえる

愛媛県立西条農業高等学校 石鎚黒茶SELプロジェクトチーム

～文化伝承！石鎚黒茶をつなぐ！～



在庫黒茶を利用した肥料効果の検証



在庫黒茶を利用した商品開発

経緯

- 西条市には、日本で2カ所しか生産されていない二段発酵茶の「石鎚黒茶」があるが、生産者が減少し、その伝承が危惧される状況であった。
- そのことから、行政や製造団体で構成される協議会と連携し、労働力支援や研究活動、商品開発、普及活動など、次代につなげる活動を行っている。

取組内容

- 環境工学科土木班での農業土木整備の後、農業土木班が測量を行い、食農科学科でお茶を栽培した。また、生活デザイン科で商品開発と販売活動、環境工学科造園班でワークショップ開催や寺院への展示などの普及活動を行うなど、3学科で協力し、さまざまな活動を展開した。
- 令和4年度より、黒茶を使った肥料の開発、西条農オリジナル黒茶の製造、イベント参加による普及活動の展開などを実施。

活動の効果

- 令和5年に「石鎚黒茶」の製造技術が国の重要無形民俗文化財に指定された。その記念シンポジウムが開催され、講演者として活動報告を行った。
- 製造には一定の標高が必要であるが、学校の農場施設で菌を繁殖させ、菌量を増やし発酵を促すことで、標高に関係なく黒茶の製造が可能となった。
- 労働力支援や研究活動、商品開発に加え、イベント参加などにより普及活動を行ったことにより、行政や製造団体で構成される協議会との連携が始まった。

応募団体からのアピール・メッセージ

今年、開催された、「石鎚黒茶の製造技術」国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウムで活動報告を実施し、参加者に活動をアピールした。今後も普及活動を展開する。

住所・電話番号・SNS等

西条市福武甲2093 Tel:0897-56-3611

えひめけんりつたんばらこうとうがっこう

愛媛県立丹原高等学校

～丹原高校から人づくり地域づくり～



台湾研修：輸出ブドウのプロモーション販売



台湾研修：インターンシップ パン製造

経緯

- 8～9年前、農水省・文科省からGAPに取り組むよう県教委に働きかけがあり、農業教員がGAP研修を実施。
- GAP認証取得に取り組むことを通じて、県や市、近隣校、地域農家との連携協働を進め、農業学習の深化と地域人材の育成、地域農業の活性化を図った。

取組内容

- 平成30年8月、日本の高校で初めてブドウのグローバルGAP認証を取得。以来、毎年台湾へ輸出している。
- 令和5年8月、台湾で、輸出ブドウのプロモーション販売と、現地企業での食品加工分野のインターンシップを実施。
- 地域への普及活動として、近隣2高校を招き、毎年2回GAP学習会を開催する外、地域農家10戸との協働で農家実習を実施。

活動の効果

- 生徒たちにとって、自分たちの手で生産したブドウを輸出し台湾で販売することは大きな喜びと自信につながった。また、海外での就労体験は貴重であり、自分や日本を見つめ直す契機となった。
- 当活動が大きな魅力となり、グローバルGAPに興味を持ち台湾研修を目当てに入学してくる生徒もいる。また、地域との協働により「地元愛」の強い人材が育っている。

応募団体からのアピール・メッセージ

これまで以上に地域の農家や企業、教育機関、行政等との連携を大切にして、さらに取り組みを進めていきたい。

住所・電話番号・SNS等

西条市丹原町願連寺163 Tel:0898-68-7325



えひめけんりつたんばらこうとうがっこう くさばなはん

愛媛県立丹原高等学校 草花班

～花木を未来に サステイナブルな農業実現～



花木のPR活動



産官学民連携プロジェクト成果発表

経緯

- 西条市では、高齢化等による農業の衰退が著しく深刻なことから、海外でも人気があり軽作業で高収入の花木に着目した。
- 栽培面積は広いが安定した出荷ができていない課題があり、持続可能な花木苗生産技術を確立し、西条地域を全国的な「花木の産地」とすることを目指した。

取組内容

- 花木の中でもメラレウカとピットスポラムの苗生産が安定していないことから、穂木から発根させ、出荷に至るまでのプロセスを構築するための研究を開始。
- 一般農家でも容易に発根させられる方法を模索するとともに、各機関と連携し、生育環境による発根率の相違を調査。
- 年間20回以上実施する地域講習会で花木のPR活動を展開。

活動の効果

- 本校の菊栽培で用いる密閉挿しを応用した結果、発根率が平均19%から平均62%となった。また、径2mmの穂木が挿し木には有効であることや、メラレウカとピットスポラムの適期が異なることが判明した。
- 4地点で発根率を調査し、地域還元時に各環境下で発根可能であることを確認。
- 花木を主とした新規就農者が地域で誕生し、1年目から利益を上げることに成功。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は花木による新規就農者を増やすこと。そして鉢上げから出荷に至るまでのプロセスをマニュアル化し、地域から県内へ、そして県外へと花木を繋ぎ、地域の特産とすることを目標に、研究を継続していきたい。

住所・電話番号・SNS等

西条市丹原町願連寺163 Tel:0898-68-7325